

総合部門①（北海道開発局長賞）

「根室地域歯舞地区マリンビジョン協議会」  
～最東端の海からのメッセージ～

【概 要】

「根室地域歯舞地区マリンビジョン」は、歯舞水産物のブランド化を中心テーマに位置づけ、ブランド化への取組を通じた漁業振興を図るとともに納沙布岬観光の振興による地域の活性化に向けて、関係者が一体となって活気のある地域づくりを目指すものです。

道内外の企業との連携による企業内マルシェや食堂の出店、修学旅行生を対象にした漁業体験や特産品の提供、地元学生の修学旅行先における歯舞ブランドのPR等、歯舞ブランド化を中心に様々な取組が着実に継続・発展され、地域振興が図られています。

【選定理由】

地域が一丸となり、歯舞水産物の知名度向上のため、各種催事へ積極的に参加するなど、地域マリンビジョンの中心テーマであるブランド化に向け、着実に取り組まれています。さらに、地場水産物を活用した一流シェフによるお魚料理発表会や地元の学生に対する昆布加工の体験学習、道外本社の社員食堂での企業内マルシェ等、新たな取組を7項目も創出され、常にビジョンの実現に向けた取組が発展・深化されており、正に他地域のモデルとなっていることが評価されました。



道外企業との連携による企業内マルシェ(左)と  
地元学生による札幌での歯舞ブランドのPR活動(右)

## 総合部門②（北海道開発局長賞）

「登別・白老（虎杖浜）地域マリンビジョン協議会」  
～「環境」を基盤とした「観光」との熱い連携、  
そして深い「感動」を～

### 【概要】

「登別・白老（虎杖浜）地域マリンビジョン」は、定評のある登別・虎杖浜ブランドの水産物を核にした衛生管理の強化や地産地消の推進によって、地場水産物が地域住民にPRされることで、地元水産応援団の拡大が図られるとともに、周辺観光地への地場水産物の供給体制の確立による観光産業との相乗効果の発現を目指すものです。

地域一体による衛生管理対策の推進、漁港に隣接する登別駅前広場における「海鮮直市（アンテナショップ）」の開催、周辺地域と連携した地場水産物の普及活動、登別温泉観光客への地場水産物PR等、地域マリンビジョンの目標に向けた取組が積極的・総合的に進められています。

### 【選定理由】

地域マリンビジョンの目標に向け、衛生管理の推進によるブランド力の強化や、観光産業と連携し、観光客へ地場水産物のPRを行い販売促進を図る等の取組が着実に行われています。また、直販イベントの継続開催によるマンネリ化解消策として周辺地域との連携による工夫も始められており、今後さらに広域的な連携に発展できるポテンシャルを有していることから、他地域のモデルとなるものと評価されました。



近隣地域との連携による「登別海鮮直市」（左）と  
水産物の衛生管理の取組状況（右）

## 個別取組部門①（北海道マリンビジョン21促進期成会長賞）

### 「出前授業による後継者・担い手育成と魚食普及」 （三石地域マリンビジョン協議会）

#### 【概要】

当地域では、課題である高齢化・担い手対策への取組の一環として、漁協青年部が実際の漁業風景をビデオ撮影・編集し、自ら出前授業の講師も行い漁業の魅力を伝えるなど、漁業後継者の確保・担い手の育成事業が取り組まれています。さらには漁協女性部との連携により、地場水産物を活用した商品開発・研究などが行われ、地場水産物の知名度向上の一助にもなっています。このように、漁業経営の安定を図るための魚食普及や地場水産物の消費拡大に繋がる取組が進められています。

#### 【選定理由】

本取組の効果は即効性が小さいものの、継続することで効果の発現があるという認識の下、出前授業の講師には特定の担当者を設けず、漁協青年部の誰もが講師可能な体制を整えることで、営漁の合間で効率的に講義を行うことが可能となり、漁業後継者の確保・担い手の育成に大いに繋がる点が評価されました。

加えて、出前授業を通じて、地場水産物を活用した新商品の試作研究が行われるなどの発展も見せており、こうした地域一丸となった取組により地域振興の更なる活性化に発展するものと期待されています。



地元小学生(左)や管理衛生士を目指す  
札幌近郊の大学生(右)への出前授業状況

## 個別取組部門②（北海道マリンビジョン21促進期成会長賞）

### 「地元の海を守り続ける5ヵ年計画」 （積丹地域マリンビジョン協議会）

#### 【概要】

当地域は、全国的にも問題となっている磯焼けによる漁業への影響が顕著であり、藻場を再生させるためにウニの除去や母藻の設置等の取組が行われています。この磯焼け対策に取り組むにあたりダイバーと漁協の協働体制を図った結果、地域間交流が生まれ、さらには地元の子供達への水産教育・水泳教室等も行われています。豊かな藻場を再生・維持することで、将来その藻場で働く担い手の育成に繋がり、ゆくゆくは地域の活性化にも大いに寄与するものとして地元では積極的に取組が進められています。

#### 【選定理由】

積丹半島は道内有数のダイビングスポットであり、悪質なダイバーによる密漁が後を絶えない中、海洋環境に高い関心を持つダイバーとウニの食害対策を行うための労働力が不足している漁業者との思いが合致し、全国的にも珍しいダイバーのボランティア参加による協働体制での取組が評価されました。

全国的にも珍しいダイバーのボランティア参加による協働体制のため、体制構築に至る迄の経緯や具体的な磯焼け対策の内容や成果については、他地域への優良事例として参考になるため、情報・知見の共有化について期待するとの意見がありました。



ダイバーと漁業者の連携によるウニの除去作業状況（左）と  
子供達への水産教育・水泳教室（右）の状況